

審査情報提供事例について

審査支払機関における診療（調剤）報酬に関する審査は、国民健康保険法及び各法、療担規則及び薬担規則並びに療担基準、診療（調剤）報酬点数表並びに関係諸通知等を踏まえ各審査委員会の医学的見解に基づいて行われています。

他方、高度多様化する診療内容についての的確、かつ、迅速な審査を求められており、各審査委員会から自らの審査の参考とするため、他の審査委員会の審査状況について知りたいとの要望のある事例について、平成17年度より全国調査を実施し、各審査委員会及び国保連合会間で情報の共有をまいりました。

今般、審査の公平・公正性に対する関係方面からの信頼を確保するため、審査上の一般的な取扱いについて、「審査情報提供事例」として広く関係者に情報提供することといたしました。

今後、全国国保診療報酬審査委員会会長連絡協議会等で協議を重ね提供事例を逐次拡充させることとしております。

なお、療担規則等に照らして、それぞれの診療行為の必要性、妥当性などに係る医学的判断に基づいた審査が行われることを前提としていますので、本提供事例に示されている方向性がすべての個別事例に係る審査において、画一的あるいは一律的に適用されるものでないことにご留意願います。

平成23年3月

352 レトロゾール（産科婦人科2）

《令和3年9月27日新規》

- **標榜薬効（薬効コード）**
その他の腫瘍用薬（429）
- **成分名**
レトロゾール【内服薬】
- **主な製品名**
フェマーラ錠 2.5mg、他後発品あり
- **承認されている効能・効果**
閉経後乳癌
- **承認されている用法・用量**
通常、成人にはレトロゾールとして1日1回2.5mgを経口投与する。
- **薬理作用**
アロマターゼの活性を競合的に阻害することにより、アンドロゲンからのエストロゲン生成を阻害。
- **使用例**
原則として、「レトロゾール【内服薬】」を「子宮内膜間質肉腫（ただし、低異型度子宮内膜間質肉腫に限る。）」に対して処方した場合、当該使用事例を審査上認める。
- **使用例において審査上認める根拠**
薬理作用が同様と推定される。
- **留意事項**
 - (1) 当該使用例の用法・用量
閉経後乳癌に準じて、通常、成人にはレトロゾールとして1日1回2.5mgを経口投与する。
 - (2) 副作用として、骨粗鬆症、脂質代謝異常（特に高コレステロール血症、高中性脂肪血症）及びそれによる血栓症に注意する。

○ その他参考資料等

- (1) NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology、Uterin Neoplasums Version 2.2020
- (2) Anticancer Reseach
- (3) Gynecologic Oncology